



経済情報コーナー

シンガポールで「本物。鹿児島県」をアピール — トップセールス、商談会、 観光セミナー・商談会の実施 —

鹿児島県観光交流局長 福壽 浩

本県は、アジアの貿易・金融の中心地として目覚ましい発展を遂げているシンガポールと、1982年（昭和57年）に「第1回鹿児島・シンガポール交流会議」を開催し、以来、この交流会議を核としながら30年の長きにわたり経済・観光、芸術・文化、青少年など幅広い分野における交流を展開してきています。

このような中、2012年1月17日にシンガポールで「第16回鹿児島・シンガポール交流会議」を開催しました。この交流会議に合わせて、鹿児島から70人を超える訪問団がシンガポールを訪問し、交流会議のほか、知事トップセールス、商談会、観光セミナー・商談会などの事業を実施し、鹿児島黒牛、黒豚などの県産品や本県の観光の魅力をアピールしました。

これらの事業は、クレアの「平成23年度海外経済活動支援特別対策事業」の支援をいただき実施したもので、概要をご紹介します。

シンガポール「マリーナベイサンズ」内のレストラン「Sky on 57」での知事トップセールス

2012年1月16日、シンガポールで最も話題性の高い高級ホテル「マリーナベイサンズ」内のレストラン「Sky on 57」で、知事による鹿児島黒牛、かごしま黒豚、ブリなどの県産品を使用したメニューのPRを実施しました。

当日は、マスコミ向け試食会も開催し、シンガポール内外の新聞社やテレビ局、日系デパートの関係者、レストランシェフなど49人が参加。地元

新聞などはもとより、旅行サイトやブログなど多くのメディアに取り上げられました。注目された要因としては、①レストランはもとより、マリーナベイサンズにおいても日本の自治体にスポットを当てたレストランフェアは初めての取り組みであること、②シンガポールを代表するスターシェフ「ジャスティン・クエック」氏による、黒牛、黒豚、ブリ、安納芋など、鹿児島の旬の素材を活用したメニューを提供したこと、③消費意欲が特に高まり、シンガポール国内外から観光客が多数訪れる旧正月（チャイニーズニューイヤー）期間中にあわせ、特別メニューとして提供したことなどが考えられます。

また、メディア関係者などのほか、シンガポール国内のレストラン、流通関係者を多数招待し、県産の食材の活用方法などの提案もしました。



伊藤知事トップセールス



マスコミ向け試食会

鹿児島県の食材をふんだんに そろえた商談会

1月17日は、リージェント・シンガポールで「鹿児島県商談会」を開催しました。本県側からは、食肉、水産、加工食品、酒造・醸造会社のほか、農水産団体、金融機関など20企業・団体、総勢26人が参加し、シンガポール側からは、流通業者や



商社、小売業者など、44社、88人が参加しました。

シンガポールでは、魅力あるコンテンツがなければ有力なバイヤーの来場は見込めないため、農畜水産物から加工品、焼酎など、多彩な出展商材がそろそろよう、県内企業の募集に力を入れたところです。開始直後から多くの現地バイヤー等が会場を訪れ、本県産食品に対する高い関心がうかがえました。

試食を口にしたシンガポールのバイヤーからは、「鮮度がよい。鹿児島島の食材は豊富である」、「シンガポール人は甘めの味付けを好むので、鹿児島島の食材は基本的に好まれると思う」などのコメントが寄せられました。また、本県の参加企業は、「前向きな商談の話もいくつかあり、今後のフォローが必要」、「熱意のあるバイヤーが多かった」など、今後の販路拡大の手応えを感じたようでした。本商談会を通して、125件の商談がなされ、今後の成約、県産品の輸出拡大への可能性の広がりが期待されるところです。



商談会場風景



商談の様子

鹿児島県観光セミナー・商談会 in シンガポール

17日には「鹿児島県観光セミナー・商談会」を開催しました。シンガポールにおいて、本県が観光商談会を開催するのは初めての試みです。本県側からは、県関係者のほか、ホテル、飲食店、鉄道事業者など11人が参加し、シンガポール側からは、現地旅行社、航空会社、マスコミなど24社32人に参加いただきました。

セミナーでは、女性モデルを起用し「Kirei」というテーマで、九州新幹線や人気のパワースポット等の新たな観光素材や魅力をまとめた観光DVDを上映し、美しい鹿児島をアピールすると

ともに、シンガポールからの県国際交流員による観光PRのプレゼンテーションを実施しました。

その後の商談会では、各ブースでPCやiPad等を活用しながら、各施設の紹介を行いました。今回のセミナーに参加したシンガポールの旅行社からは、「2012年3月末に就航予定の中華航空鹿児島・台北線を使った鹿児島旅行商品の造成に取り組みたい」、「シンガポール航空のチャーター便で鹿児島ツアーを造成したい」など前向きな反応が得られ、非常に手応えのあるものとなりました。



観光セミナー



観光商談会の様子

最後に

本県とシンガポールは、30年の長きにわたり多様な交流を展開してきており、こうした交流の積み重ねによる人的ネットワークや海外事務所・関係機関のご協力等により、鹿児島島の安心・安全で高品質な食材や、多様で豊かな自然や歴史、伝統的な文化、豊富な温泉など本県の観光の魅力を、シンガポールの方々にPRできたと考えています。

本事業の実施にあたり「平成23年度海外経済活動支援特別対策事業」に採択いただいたクレアをはじめ、同シンガポール事務所や駐シンガポール日本国大使館など、ご支援・ご協力いただいた関係機関の皆さまに深く感謝申し上げます。

昨年3月の東日本大震災や原子力発電事故によるさまざまな面での影響が懸念されている状況の中、今回の事業を実施したことで、わが国とシンガポールのさらなる経済交流や観光交流の促進につながれば幸いです。